

藤井青銅「作家的発想法～自分の頭を柔らかくする」

人の頭は、自分が思う以上に固い。

面白いもの、新しいものを書く秘訣は、まずは柔軟な発想にある。

そして、柔軟な発想を得るためには、実はいくつかの方法がある。

1 今回のテーマ「切り口1 法則」

切り口とは…

人と同じものを見ている、それをどう切り取るかの「切り口」の違いで、違う文章になる。違う作品になる。違う世界ができる。

※参考本「宇宙の法則」「宇宙の法則Ⅱ」
～その実例から、切り口の作り方を学ぶ

「法則」という名の切り口。

「あるある」と「法則」。

「マーフィーの法則」はなぜ大ヒットしたのか？

人は長い文章を読みたくない。

「法則という切り口」を使って日常を見ると、新たな発見がある。

今まで見過ごしていたものの中に、発想の種がある。

【課題】

一つのジャンルを決め、三つの法則を提出する。

ポイント

～三つを提出するためには、少なくともその三倍は候補を考える。

～やり方1「まずジャンル決めてから、法則を出す」

～やり方2「ノンジャンルで法則を多数出してから、同じジャンルのものを探す」

このどちらでもいい。

～一、二行で簡潔に伝えられるように書く。